

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田米菓株式会社
実習期間	平成 30 年 8 月 20 日 ～ 平成 30 年 8 月 25 日
学生氏名	菅野 那憲
実習プログラム	<p>1 日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・工場全体の案内</li><li>・カフェでの接客業</li><li>・翌日の商品の仕入れの手伝い</li></ul> <p>2 日目</p> <p>初日同様で、カフェ配属</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・試食品の補充</li><li>・せんべいの焼き体験のレクチャー</li><li>・レジでの包装の手伝い</li><li>・せんべいの味付け体験のレクチャー</li><li>・アンケート用紙の準備</li><li>・工場案内（佐々木さん）</li><li>・工場案内（社長）</li><li>・翌日の商品の仕入れの手伝い</li></ul> <p>3 日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・カフェの準備</li><li>・企業の説明</li><li>・カフェの手伝い</li><li>・仕入れの手伝い</li></ul> <p>4 日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・エントランスで接客</li><li>・ガイドの同行</li><li>・エントランスで接客</li><li>・エントランスの清掃</li></ul> <p>5 日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・エントランスで接客</li><li>・エントランスの清掃</li></ul>

<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>今回の酒田米菓での企業実習では、接客業を通してコミュニケーション力の重要性を改めて実感した。なぜなら、企業を経営していく上でお客様に満足してもらう要因は、質、清潔感、そして店員の接客の態度なのだ。特に態度は、お客様の印象に強く残るものであり、接客こそがお客様と企業との関係を強くする懸け橋となるのだ。それを高めるための一つの手段としてホスピタリティーがある。ホスピタリティーは、現在では、ホテル、レストラン、病院、観光などで使用され一般には「他者をあたたかく迎えてもてなす心」という意味で理解されています。もてなす行為は、相手を受け入れることであり、迎え入れることから始まります。ホスピタリティーは単に、「お客様第一主義」とか「お客様は神様」といった一方的に従属するという意味ではありません。相手を歓迎し、心を込めて何かをして差し上げることで、心と心が触れ合い、お互いに響きあい、こだまし合うことです。ホスピタリティーは「マインド」「マナー」「スキル」が支えます。お客様を思いやる心が不可欠であることは言うまでもありません。それを踏まえたくて第一印象の好印象を与える能力を身に着ける力も必要になってきます。</p> <p>また、コミュニケーション能力の向上のために自分の情報量を増やすことも重要になっていきます。これは、自分の情報の引き出しを増やすことで会話を膨らませることに役立ちます。人は会話で、より詳しく具体的なものに感心し魅了されます。自分の意思を相手に伝えるために日々自分の情報量を増やすことを意識し社会や人に関心を持ってください。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今回の企業実習を通して、主に人との付き合いの重要性に気づかされた。経営をする上で、お客様に与える印象でお役様がもう一度ご来店してくれるかが決まる。良い印象を与えるためにどのように接するべきかを今回の企業実習では学び、目標にしていたコミュニケーション能力の向上を達成することができた。やはり人との付き合いを築く上では話す能力が必要不可欠になる。これは全てのことに言い換えることができるもので、自分の意思を相手に伝える、相手の伝えようとしていることを十分に理解する、言葉使いが正しくできるなど社会で働く上では必ず求められる能力だ。話すうえで求められるのは、情報量だ。その人の持っている情報量でその話の膨らみ方が代わっていく。今回の企業実習で身に着けたことを自分がこの先社会に出で行く中で、しっかりと自分の物にし、強みにできるよう努力していきたい。私は、いま居酒屋でアルバイトをしています。アルバイトでは主に接客が仕事内容になります。そうした中で、お客様にまた来たい、誰かに進めようなどプラスのイメージになれるよう今回の企業実習の経験を生かしていきたい。そのために、朝ニュースを確認したり、新聞で経済状況を確認したりなど自分の情報量を増やしていきたい。そうすることで、自分の引き出しを増やし、又話すことにより増やした引き出した情報をうまく話に盛り込めるようにしていきたい。また、酒田米菓で学んだことは、就活の際の面接のとき初対面の人と話すという面で有利になると考える。</p>

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)

今回私が企業実習をさせていただいた酒田米菓株式会社はお客様第一を徹底していました。従業員のお客様に対する態度や、働く上での考えなどを見るとそれがよく見て取れた。お客様に対する思いやりが細かく、充実しているためお客様の笑顔が絶えないとても素敵な企業でした。

また、従業員同士の雰囲気もよく働いている人も働きやすい環境作りが徹底されていました。特に従業員は一人ひとりホスピタリティーを徹底していました。そうすることで、思いやりの気持ちが芽生え、お客様に対しての気遣い、従業員同士の助け合いが自然とできるそうです。

酒田米菓株式会社では、お客様のニーズを重視してお客様の声に全力に答えていた。そのためお客様の満足度は常に高く、リピーターのお客様がとても多いです。お客様の声をきちんと聴き、それを実行に移すことができる行動力がある企業でした。

写真 (1~3点)



(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田米菓株式会社
実習期間	平成 30年 8月 20日 ~ 平成 30年 8月 24日
学生氏名	真田海翔
実習プログラム	1 日目・工場全体の案内 2 日目・工場案内（佐々木さん）・工場案内（社長）・エントランスの清掃 3 日目・エントランスで接客・エントランスの清掃・ 4 日目・カフェでの接客・試食品の補充・せんべいの焼き体験のレクチャー・レジでの包装の手伝い・せんべいの味付け体験のレクチャー・翌日の商品の仕入れの手伝い 5 日目・カフェでの接客・せんべいの焼き体験のレクチャー・レジでの包装の手伝い・せんべいの味付け体験のレクチャー・翌日の商品の仕入れの手伝い
学び・気づき (300字程度)	今回の実習先である酒田米菓さんで実習させて頂いた業務は接客業であった。接客業を行う際において気づかされた点はやはりコミュニケーション力が重要な力であることに気づかされた。また、人とコミュニケーションをとる際に有意義な考え方となるホスピタリティという考え方も学ばせていただいた。ホスピタリティとはマナー、マインド、スキルの三つの面を軸として表現される。ホテルやレストラン、病院等で使用され、一般的には他者をあたたかくもてなす心という意味として理解されている。スキルの具体例を挙げるとすると、第一印象、笑顔、身だしなみを整える等といったことが主となっている。また人と柔軟にコミュニケーションをとるためには相手を理解する傾聴力が必要不可欠ということを学んだ。
今後に向けた抱負 (200字程度)	今後は人とコミュニケーションをとるために必要な相手を理解するための傾聴力を伸ばしていきたいと思う。そのために初対面の人などに関わる機会など増やし、積極的に交流をしたいと思う。様々な人と交流を持つと、様々な視点から物事を考えることができるのではないだろうか。他には、テレビやネットのニュースをチェックし、自分が持つ情報量を増やしたい。会話をするに当たり、有意義な引出しを増やすことで柔軟なコミュニケーションをとることができると思ったためである。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	今回私が実習をさせていただいた酒田米菓さんはお客様を第一に考えた業務をしていた。従業員の方々のお客様に対する接客の仕方も丁寧に、お客様の状況を考えたうえで笑顔で接していた面がとても印象的に残り、とても魅力的なことと感じた。酒田米菓さんでは、お客様のニーズに応えることを徹底していてお客様の声に全力に答えていることを意識した接客をしていた。そのためお客様の満足度は常に高く、リピーターのお客様がとても多いことを実習を通して学ぶことができたお客様の声をきちんと聴き、それを実行に移すことができる行動力がある企業であったことも魅力的に感じることもできた。

写真 (1~3点)

